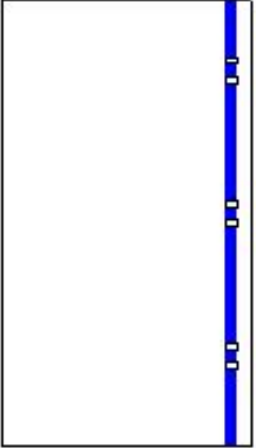

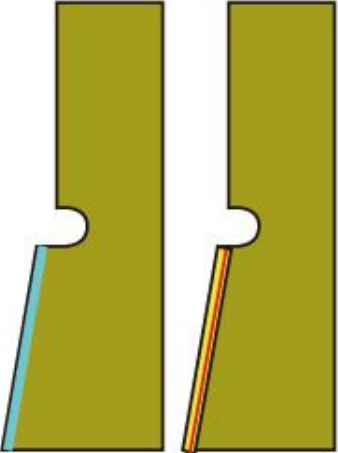
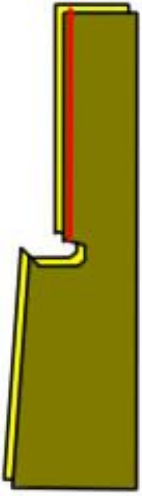
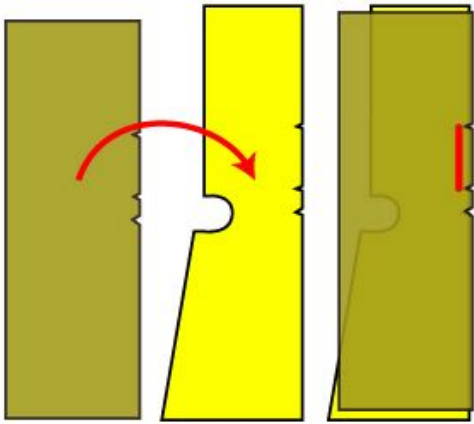


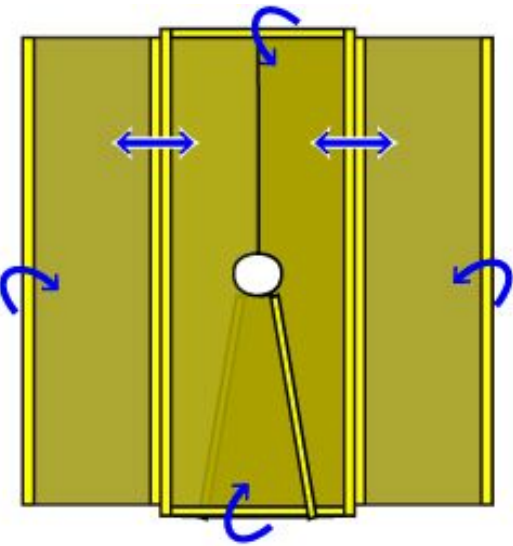
<p>■ 表 ■ 裏</p> <p>■ 接着芯</p>	<p>1) 見返しと裏になるほうのえりに接着芯を貼ります。 裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください くわしくは縫う前の下準備を参照</p>
	<p>2) リボンを通すためカッターなどで切込みを入れてください。 ほつれやすい生地は切込みを入れるところに薄手の接着芯を貼ってください。</p>
	<p>←写真は実際に神社に行ってみせていただいた夏用の水干のそでのアップです。 実物はリボンではなく紐でした。 このように特に処理などせず、切れ目を入れただけのところに紐を2本通していました。</p>
	<p>身頃（胴体）を表同士が内側になるように重ねてください。 後ろ中心を1cmの幅で縫ってください。</p>



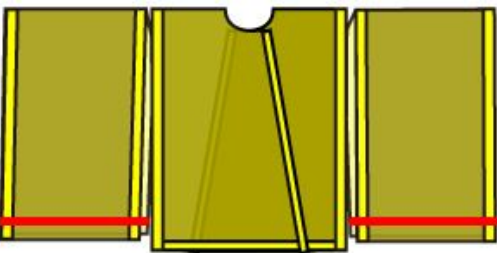
袖（そで）をつける。
身頃（胴体）の上にそでを表同士が内側になるように重ねてください。
印同士を合わせてください
肩からではなく、5 cmほど後身頃（胴体側）からすそ側の印までの間を縫ってください。



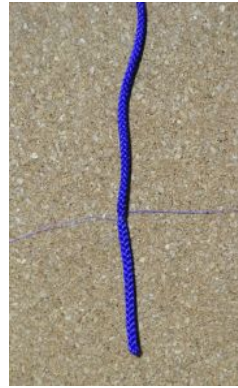
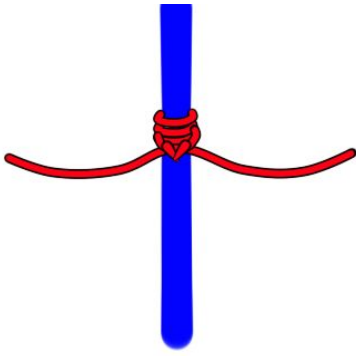
斜めのところは生地が伸びやすいので1 cmに切った接着芯か伸び止めテープを貼ってください。
貼らなくてもいいのですが、ねじれて斜めのしわが入るので気になる人は貼ってください。
1 cm裏へ折って端から5~7mmのところを縫ってください。



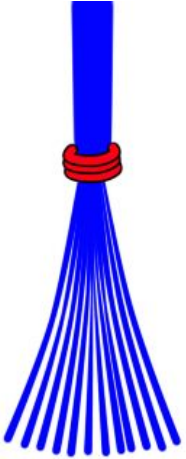
そでの縫い代を左右に広げてアイロンをかけてください。
そで口と、すそもアイロンをかけてください。
はしから5~7mmのところを縫ってください。
熱接着の両面テープで固定すると楽です



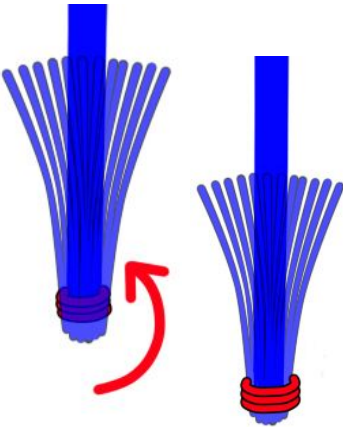
袖底（そでそこ）を1 cmの幅で縫ってください。



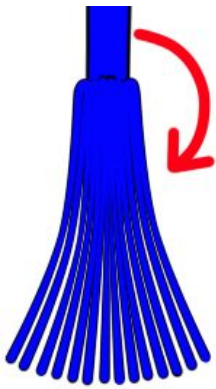
紐の先に房をつくる。
紐は打ちひもというものを使ってください。
紐の先がそのまま房になったタイプの作り方です。
房の長さより3cm長めのところを結んでください。



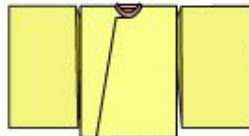
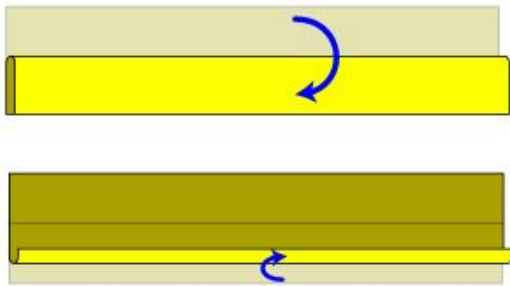
結んだ所から下をほぐしてください。



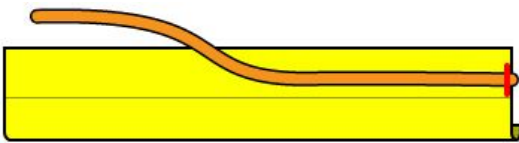
ほぐした部分折り返して紐の周りに均等に広げてください。
下のほうをきつく結んでください。
糸が滑りやすく抜けそうな場合は、針に糸を通して何度か紐を縫ってから巻くといいですよ。



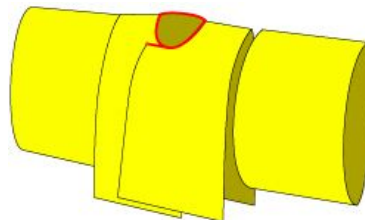
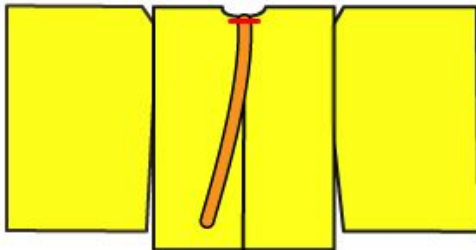
房を下に下ろし、折り返しの近くをきつく結んでください。
アイロンのスチームか、霧吹きで水をかけてアイロンをかけると、房の先が次第にまっすぐになります。



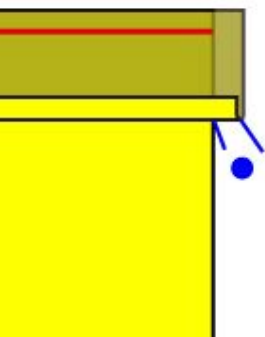
首の布をアイロンで半分に折ってください。
広げて片側だけ1cmの幅で折ってください。



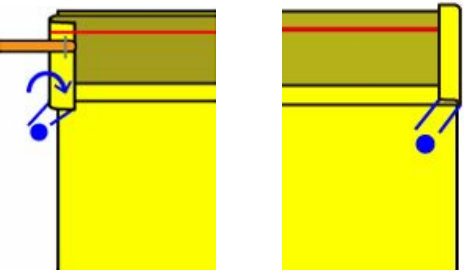
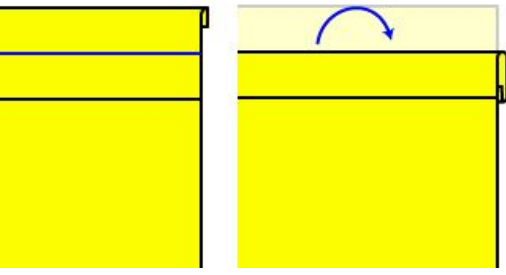
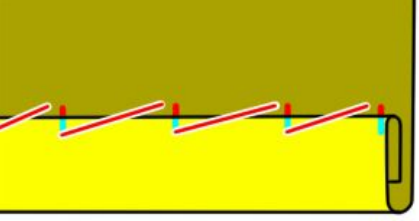

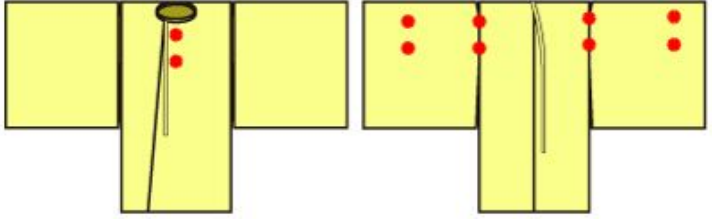


えりの生地を表側にひっくり返してください。
えりの右端に紐を重ね端から5mmのところを縫ってください。



後の中心にも紐を重ね端から5mmのところを縫ってください。

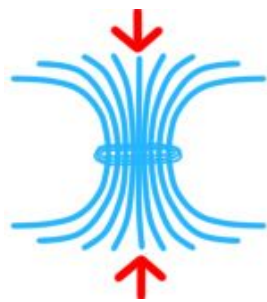


身頃(胴体)とえりを表同士が内側になるように重ねてください。
身頃よりえりが●=縫い代分はみ出すように重ねて縫ってください。

	<p>両端の縫い代を裏へ折ってください。</p>
	<p>アイロンでつけおいた折り目でえりの半分を裏側へ折ってください 中に1.5~1.8mm幅に切った厚紙や0.2~3mmのライオンボード(ソフトボード)を芯として入れてください。</p>  <p>熱接着の両面テープを使うか、まつり縫いでえりの裏側を閉じてください。</p>
	 <p>胸のところの花のような飾りは菊綴じ(きくとじ)といいます</p>
	<p>上記の菊綴じは、色の豊富な、ジーパンなどのステッチ(飾り縫い)のミシン糸20番(太い)を使ってみました。 280円のもので直径5cmのものが5つ作れました。</p>
	<p>6cmの厚紙に200回ほどまきつける。 ぐちゃぐちゃにならないように外す。</p>



中央を糸で縛る。
巻いた糸の上下を切る
切るとこんな感じ




つぶすとこんな感

じ。
結び目を基準に糸が抜けない様に放射線状に広げてつぶす。



糸が抜けないようにピケを塗っておく。
洗濯しないならば裏から少し薄めた木工用ボンドでの補強でもいいかも。

	 <p>このままだとガタガタなので、コンパスで紙に直径5cmの丸を作る。 中心を合わせて、チャコペンなどで印を付ける。 この時なぞるように書くと糸が動いて書きにくいので、点を打つ感じで印を付ける。 厚紙で作れば厚紙をつけたまま厚紙にそって切ってもよいです。</p>
	<p>切りそろえて、手縫いで縫い付ける。 本を見ると補強と書いてあるのですが、私はミシンで縫ってしまうので補強の必要が特にないので、洗濯のことも考慮して、ボンドでスナップボタンを裏に付けて簡単に取り外しが出来るようにしました。</p>

必要な材料

表生地、打ち紐、ほつれどめ液、ミシン糸、伸び止めテープ（接着芯）、えりの芯用の厚紙かライオンボード2mm

オススメの生地

※あくまでコスプレ用としてのオススメです

TCブロード

薄手の軽く、少し張りのあるデザインで作りたい場合はこれ

ポリエステルと綿の生地なので綿100%しわになりにくく、張りがあるので縫いやすいです

ポリエステルギャバ

ポリエステルツイルの中でも薄手で、張りのある生地

TCブロードより気持ち張りがある透けにくいです

カチッと作りたい場合はこちら

チャイナ生地

派手に見栄えよくしたい場合はこれ

お店によって同じ柄でも張りのあるものとやわらかいものがあるので、一度取り寄せをしてから決めるといいと思います

打ち紐 100円均一で江戸打ち紐という名前で売られていたりします